

# 「知ること」「気づくこと」は大切なこと



## 「人権」ってなあに？

○家族で「人権」について話し合っています。

(姉) 人権って「人間が人間らしく幸せに生きる権利」なのよね。

(弟) そのためには、まず、自分のことをよく知って、自分自身を大切にすることだね。

(父) 人権を守ることは、一人ひとりの人間を大切にすることだよ。自分の権利を主張する時は、他の人の権利についても大事にしないといけないよ。

(母) お父さんの言っていることは、お互いの人権を尊重し合うこと、つまり「人権の共存」ということね。

人権は、誰もが人間として生まれながらにもっている権利ですが、日常の暮らしの中で、「自分とは関係がない」「人権は堅苦しい」「何か難しい問題」などと思っ

みんなが共に生きる社会を築いていくために、「自分の人権は守られているか」「他人の人権を侵害していないか」など、身近な暮らしを「人権の視点」から考えてみるのが大切です。

## 見つけようあなたのわたしのいいところ

○ある会の席で  
(司会) では、自己紹介をかねて、自分のいいところを話してくださいね。

(参加者A) 私は、性格が明るくて、小さなことでよくよしないとこからしら  
…。

(参加者B) 私は、料理が得意です。子どもがいつも「おいしい、おいしい」って、食べてくれるんですよ。

(参加者A) 私は、子どもの話をよく聞くように心がけています。子どもとの会話って楽しいですね。

市人権推進課(教育庁舎1階)  
☎ 322・21122  
FAX 333・35225  
Mail: jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (316) 松並敦子・選

日焼けせし夏の名残の黒い手を眺め動かし梨を剥きおり

横須町 柿本美知子

《評》梨を剥くという日常生活の一コマに小さな幸せを見出している作者の姿がある。「黒い手を眺め動かし」と具体的に表現したこと、初秋のまだ日焼けの残る掌で、初物かもしれない梨を宝物のように扱いつつゆつくりと剥いていく、そのときめきのようなものが伝わってくる。

一人去にまたひとり去ぬ法要の部屋は西日のあかあかとして

横須町 福島 夢栄

稜線のほんのり明るし遠花火音しずまりて夏は過ぎゆく

立江町 湯浅かや子

たわいなきことも幸せ今日からは薬の量が少し減りたり

立江町 大西 和美

胸丸めよちよち歩くわが姿なりたくなかと思つていたのに

坂野町 橋本千代乃

宵闇に色とりどりに瞬く星をしばらく眺めこころ安らぐ

立江町 森本 幸子

早引きの大きな文字で引きやすい国語辞典の新調をする

田浦町 太田カツミ

五郎丸歩選手の活躍にすっかり我はラグビーファン

田浦町 西 照子

リレーフォーライフとくしま始まりぬピンクリポンの旗もち

歩む

横須町 山崎 泰子

還暦を過ぎてあれ、それ、その、えーと 抽象的にいきとおります

ひのみね総合療育センター 関 政明